

# サプライチェーン・サイバーセキュリティ対策促進事業

## 令和4年度概算要求額 5.6 億円（新規）

### 事業の内容

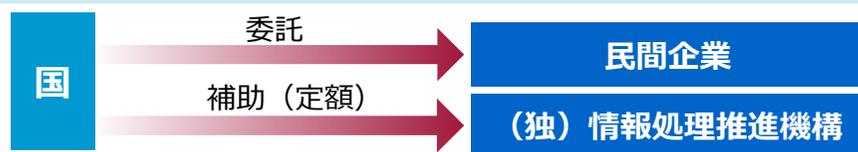
#### 事業目的・概要

- 産業分野におけるサイバーセキュリティ確保に関して、サイバー空間とフィジカル空間の融合が進むSociety 5.0 においては、サイバー空間で流通するデータの増加による流出リスクの拡大や、サイバー攻撃起点の増大、フィジカル空間への影響の拡大が見られ、国際的にもルール形成が進んでいます。また、昨今では、セキュリティとセーフティの融合が一層進むとともに、クラウドやオープンAPIの活用により、システム等を所有するオーナー企業がシステムの全体像を把握できない課題が生じています。
- 本事業では、サプライチェーン全体でのセキュリティ確保のための産業界一丸となった対応に向けて、ガイドライン策定やソフトウェアサプライチェーン管理の高度化のための実証のほか、「開発のための投資」から「検証のための投資」へのシフトのためのセキュリティ検証事業者の育成や利用促進のための環境整備を実施します。

#### 成果目標

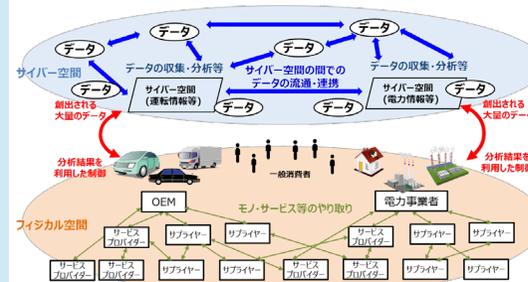
- 令和4年から令和6年まで3年間の事業であり、ガイドラインの整備等を進めることにより、7以上の産業分野でサプライチェーン全体でのサイバーセキュリティ対策が実施されることを目指します。
- 3年間の事業で、セキュリティ製品の有効性検証やセキュリティ検証ビジネスの信頼性の可視化等を実施することにより、有効性・信頼性が確認されたセキュリティ製品・サービスの数を10以上とすることを目指します。

#### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



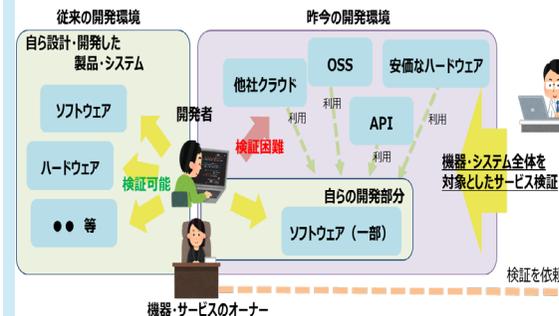
### 事業イメージ

#### サプライチェーン・サイバーセキュリティ対策基盤構築【委託】



- サイバー空間とフィジカル空間の融合が進み、サプライチェーンが動的に構成される状況下におけるサプライチェーン全体での対策を進める必要があります。
- 業界横断的な課題や業界別の課題に対して、ガイドラインを整備することで、個々の企業による対策を超えて一体的な取組を促進する枠組みを整備します。

#### 「開発のための投資」から「検証のための投資」への重点化促進【委託】



- OSSやオープンAPIの普及で飛躍的に改善した開発環境を支えるため、「開発」中心の投資から、「検証」中心の投資行動へのシフトが求められます。
- ソフトウェアの部品構成表であるSBOM活用の促進や、高度な検証能力を持った国内の検証事業者の育成や信頼の置ける検証事業者の可視化を実施します。

#### 我が国のサイバーセキュリティビジネスのエコシステム構築【委託・補助】

- 日本発のセキュリティ製品・サービスが次々と創出され、ユーザ企業に採用されるエコシステムを確立する必要があります。
- そこで、セキュリティ製品の有効性を検証し、それを市場に発信していく枠組みを運用するとともに、各企業のサイバーセキュリティの担当者同士の交流の機会を創出する「コラボレーション・プラットフォーム」を運用します。